



広報 ひがし しらかわ

No.350
H2/4

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神戸
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

— 3月末住民登録人口から —

世帯数	903世帯
人口	3,492人
転入	19人
転出	58人
出生	2人
死亡	1人

先月と比較して38人減
昨年と同月と比較して
35人減

サラブレッドがやって来た!

東白川のみなさんはじめまして。私は、この一年前まで東京都江戸川区の競馬場でレースに出場していましたが、このほど退職し、この村の7人の馬主に引き取られて只今中通の高井武さん宅で牛といっしょに仲良く暮らしています。

私は8歳、人間なら女盛りという年ですが、春に転入したことから「美春」というかわいらしい名前をいただき、慣れない人や重い人を乗せて毎日1時間ほど林道を散歩しています。

動物の中でも人一倍手のかかる私。毎日ブラッシングと爪の掃除、そして床の敷ワラ替えなど、主人に大変苦勞をかけています。

主人たちは、なにやら私に期待していることがあるようですが、今は私にもわかりません。



高校入学を控え春休みを「美春」と過ごさ高井秀樹さん

道を作る

主な改良・舗装計画図



年代のスタート

平成2年度 予算総額 **26億**

平成二年度の村の予算は、一般会計十七億円、四つの特別会計と病院事業会計が九億二千五百万円、合せて二十六億二千五百万円と決定しました。これは前年度に比べて九パーセントの増加となつていますが、新年度の特徴は、何といたっても水道事業に着手し、始めて村営住宅の建設を手がけるなど、生活密着型となったことで、立村百年のスタートにふさわしい積極予算であります。

生活環境

新規事業続々登場

私たちの住んでいる身の廻りの環境を少しでも良くしたい……行政的な用語で表現すれば「生活環境整備事業」が新年度予算の目玉となりました。中でも道路整備には最も力を入れ、日向本線改良、久須見集落から黒川境までの舗装、向山林道中川原までの改良舗装、県営畑総基幹農道の全線舗装、岩倉線、神明線、中谷、西洞、大明神地区の生活道二十四路線の舗装など、一挙に十五路を行います。

もちろん白川加子母線も五加バイパスに加えて、越原バイパスも着工されます。

前年から進めてきた水道事業はいよいよ着手の年を迎えました。基礎的な調査を行い設計を進めるための予算二千七百万円余を計上し画期的な第一歩を踏み出すわけですが、ここまで簡易水道に無縁であったということからは、それほど水に恵まれた村であったという一面もあり、自然の大

切さを改めて感じます。無縁といえば、村営住宅も少し前まではそうでした、しかし若い人たちの定着を願って、五加木曾渡の村有地に六戸を計画し、とりあえず四戸を今年建築することにしました。

もうひとつの新規事業が登場します。それは家庭用合併処理浄化槽設置事業で、し尿と雑排水の浄化施設に対し高率補助を行って普及を図ろうというものです。今年度は五基分が見込まれています。

また、農村公園の設置、道路補修予算の増額など、重点的な予算配分で村をつくります。

主な生活環境整備の予算

●道路の改良舗装 4 1 路線	2 億9,000 万円
●簡易水道推進	2,700 万円
●合併処理浄化槽設置 5 基分	340 万円
●親田農村公園	500 万円
●防火水槽 1 基 (西洞)	300 万円
●平用水改良 (中学校前)	520 万円
●村営住宅建設 4 戸	6,400 万円
●村道維持補修	2,900 万円
●沢尻橋 (平) 等設計	1,100 万円

業興 産振

キメ細かな施策の積み上げ

東白川村といえは、白川茶と東濃ひのきに代表される農林業の村、というのが通り相場です。表面的なイメージは今でもその通りですが、その内面は非常に大きな変化が起きています。

特に農業は、生産をあげ所得を生み出すという面では他産業に比べてその位置は低下しました。

これからは、農業の生産向上だけを考えた施策から、住み良い農村をつくるという観点から、豊かな生活の場としての農業づくりを進めなければなりません。平成二年度では、そのために農業振興施策と土地利用を考慮するための農業振興地域整備計画の見直しに着手し、これと合せて機械化営農の確立、農地の流動化、健康農業の推進などを行います。

また、茶の生産安定のため防霜施設に対する補助金を計上しました。

土地改良事業は農地の整備がほとんど終了したため、今年は道路整備が主体です。したがってこの広報では生活環境の欄で取りあげました。

林業の面では林道の開設が引き続き重要な課題であり、継続中

の林業地域総合整備事業で二千三百坪の開設を行います。

東白川の家と銘打った木造住宅の振興は村の産業分野でも大きな比重を占めています。

今年も村外で新築される住宅の受注拡大を五十棟分見込み、平成元年度までに完成したプレカット工場に、さらに製品保管庫を追加する事業などを予定しています。

村の商工業者や、農業者が、生産のための施設を造ろうとする場合は、それぞれ融資の制度がありますが、村ではその利息に対しても助成し、さらに一定期間固定資産税を減免することにしておりです。

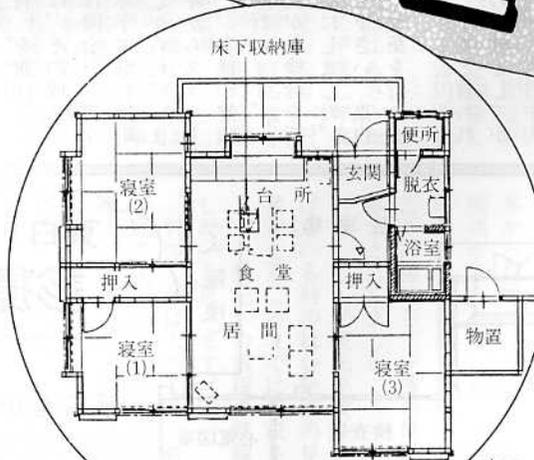
農工商全体がこれからはお互いに有効に結び合って発展することが決め手となるようです。

生活重視で90

申し込み受付は来年春

村営住宅

東濃ひのきを生かした村営住宅は3LDKのシャレた設計です。新婚のお二人、Uターンの家族など、村の人口の増加と、若い世代の定着を期待します。(完成後申込案内をします)



1棟分の間取り図

主な産業振興予算

- 水田転作、機械化営農対策、ライスセンター運営、園芸振興、茶業振興、養蚕振興、茶防霜対策、農業振興計画見直し、健康農業育成、農地の貸し借り促進、畜産振興などの農業振興対策費 4,500万円
- 間伐の促進、松くい虫防除、林道維持管理など林業振興費 1,500万円
- 林道開設 2,300m (高旗、都加太地、中出) 9200万円
- プレカット工場追加事業、1,900万円
- 東白川の家受注拡大 470万円
- 商工施設利子補給、固定資産税減免、商工会助成 800万円

平成2年度建設予定地

平成3年度建設予定地

至白川

主要地方道 白川加子母線

至加子母

主な福祉保健関係予算

- 身体障害者福祉 90万円
 - 社会福祉協議会補助 650万円
 - 老人福祉 1,120万円
 - 老人保健会計繰出 1,150万円
 - 福祉医療費 830万円
 - 児童福祉 630万円
 - 保育園費 5,600万円
 - 成人病検診 210万円
 - がん検診 230万円
 - 血液検査 250万円
 - 厄年検診、健康教室、健康相談 260万円
-
- 母子健康、助産事業 1,140万円
 - 病院診療棟改築 1億円



介護から掃除まで幅広く仕事はこなす本職員



がん検診をはじめ各種の健康相談を行います

福祉保健

健康をしっかりと支えたい

東白川村の高齢者人口（六十五歳以上）は今年の一月現在でおよそ二十二割に達しています。

四・五人に一人はお年寄りということで、高齢者福祉は村の重要な課題であります。

お年寄りの医療の財政的援助を全面的に受け持つ「老人保健特別会計」は総額二億二千六百万円で、今年始めて国民健康保険特別会計の二億一千七百万円を上廻りました。

これからはおそらく老人保健会計が大巾に伸びて行くことが予想されます。

お年寄りの人口が増えれば、寝たきりなどの介護を要する人も増えるため、今年から家庭奉仕員（ホームヘルパー）が一名増員され、加子母村のデイサービス利用のための予算も計上されました。

医療対策も大切ですが、老人福祉の最大の目的は、健康なお年寄りが一人でも多くなることです。老人クラブの活動を中心に豊かな老後のための予算も引続き計上され、さらに今年は健康農業の野

菜づくりなどを取り入れた新しい生きがい対策を進めたいと思います。

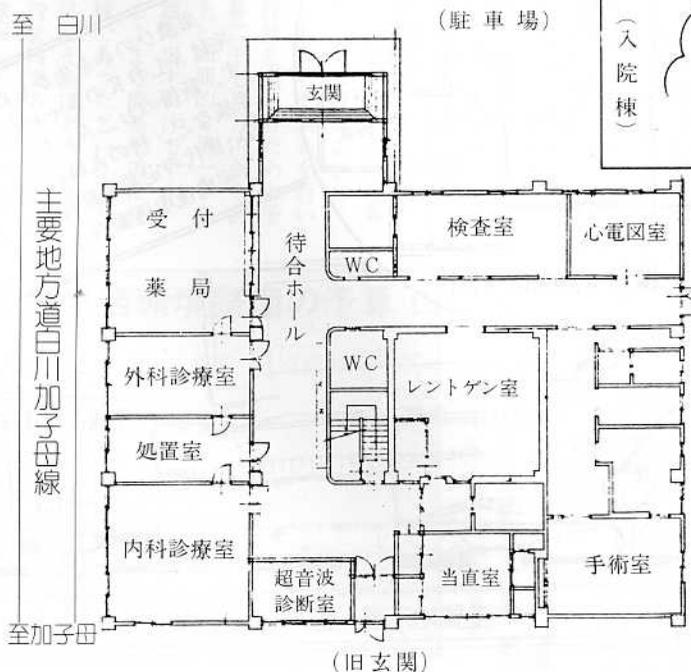
児童福祉の面では、五加保育園の園舎を増改築し、今まで加子母給食センターに頼っていた給食を、保育園児に合った給食に切り替えます。

長い間「健康村」を旗印としてきた私達の村は、その成果として、国民健康保険会計が黒字を続け、大きな赤字に悩む他町村からうらやましがられていますが、今年も前年からスタートした厄年検診など、各種の健康診断、健康相談を行います。

また今年から乳がん検診を新しく実施することにしました。下の図をごらん下さい。東白川病院の診療棟の改築を行います。

長い間、古い、不便と言われながら地域医療の中核としてがんばって来ましたが、七月中旬ごろから工事にかかり十月頃には完成したいと思っています。その間は入院棟の一部を利用して診療を続けますが、一時的なご不便に対して村民の皆さんのご協力をお願いします。完成後は、明るいイメージに生れ変わることでしょう。

東白川病院 診療棟改修計画図



病院だからこそ明るくスマートに

病院診療棟の改築計画の概要は、まず玄関の位置が、現在と正反対、母子センター側になり、診療棟前の駐車場から直に入れるようになります。

これに伴って、受付、事務室も現在の外科の位置に移ります。

内科、外科の診療室も一新され、検査室も充実されます。

また、待合ホールも明るく快適になり、村民のための医療施設として装いも新たにおめみえる予定です。

主なふるさとづくり予算

- 人材対策事業 500万円
- 地場産業活性化 330万円
- 村民運動会、産業祭、その他
イベント開催 500万円
- 村の道案内、村勢要覧発行な
どイメージアップ 420万円
- 香良洲町との交流 40万円
- 防災無線、電算化調査研究、総
合計画など計画策定 270万円
- ふるさとセンターの計画樹立と
建設、及び地域振興の組織育成
事業 (基金 7,000万円)

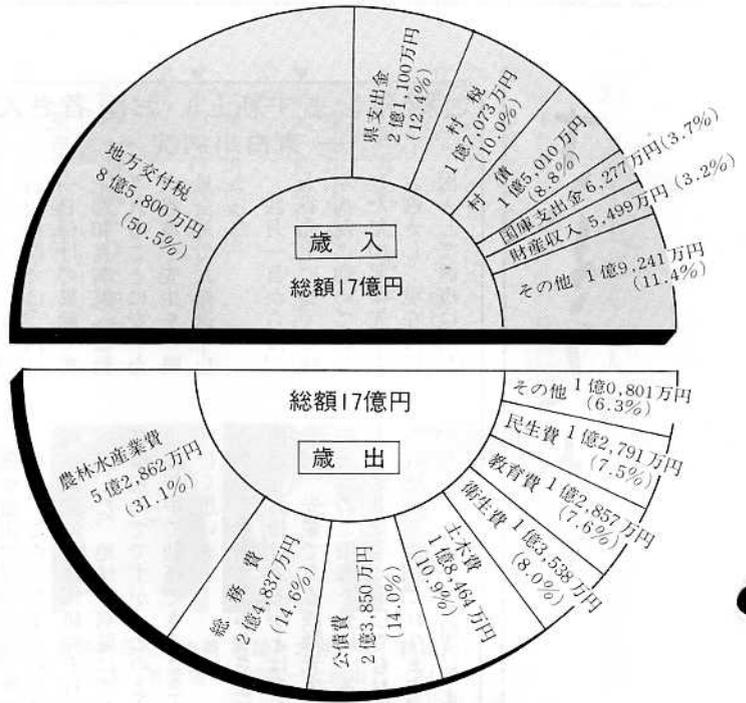
主な教育振興予算

- 小学校管理 1,150万円
- 小学校施設整備 640万円
- 小学校振興費 390万円
- 中学校管理 590万円
- 中学校施設整備 100万円
- 中学校振興費 480万円
- 文化財調査保存 120万円
- 公民館活動 200万円
- 保健体育活動 310万円
- 運動場管理 500万円

立村百年を記念してスタートし

化を進めます。また、村ではこのうち二千万円を当初予算に計上し、村民の皆さんから要望の多かった人材育成、定着事業や地場産業の活性化を進めます。

一般会計予算の内訳



ふるさとづくり

知恵と夢を結ぶ村おこし

「むらおこし」地域活性化「ふるさと創生」など、いろいろの言葉で表現される新しい分野は、年を追うにしたがって重要になりました。

平成元年に話題となった一億円のふるさと創生事業は、私たちの村では立村百年といっしょになって、記念展示会、記念祭などの多彩なイベントを開催しこの費用におよそ三千万円を費やしました。

残りの七千万円はふるさとセンター建設費として平成二年度に引き継がれることになり、村の皆さんが広く利用できるような施設として、その計画づくりから手がけて行きます。

さらに、ふるさと創生事業は

「地域づくり推進事業」と名を変え、平成二年から四年まで継続されることになりました。

村ではこのうち二千万円を当初予算に計上し、村民の皆さんから要望の多かった人材育成、定着事業や地場産業の活性化を進めます。



村の案内標識も継続実施されます

た、三重県香良洲町との交流事業も継続したいと思っています。

「植の子」を始めとして、昨年催された各種のイベントを継続し、村のイメージアップを図ることもふるさと創生のねらいのひとつです。

これらの「活性化事業」は産業から教育の分野まで、幅広く関連があるため、新年度は企画課の商工広報係を振興係と改めここに集約して一層の推進を図ることにしました。

そして、平成元年度から手がけている村の総合計画の見直し策定を夏ごろまでに完成させ、二十一世紀への飛躍の跳躍台としたいと思っています。

村づくりは人づくり！教育の分野では、文化財の調査保存を続け、保健体育、社会教育の充実で生涯学習を進めます。

小中学校の教育費と施設整備は合せて三千三百万円余を投じ、東白川村二百年への歴史を担う人材づくりに努力します。

歳入

やりくりも

村づくりのうち

総額二十六億円あまりの村の台所を支える歳入は、国から交付される、地方交付税、その他の譲与税が最も大きな比率を占め、一般会計十七億円に占める村税収入は一部、一億七千万円となっています。

国内の好景気を反映して、各地方自治体の税収は五割程度の伸びがあると見込まれています。企業が力の弱い私たちの村では、税収の伸びはほとんど見込めません。

地場産業を振興して、税収がもっと多くなるような力をつけることが、村の発展につながるポイントであると言えます。

村債と呼ばれる借入金金は、一億五千万円と、前年より三十九割余り多くなりました。

これは、村営住宅や道路整備などにあてるためで、そのほとんどが償還金に対して国の援助がある有利な借入です。

ご紹介しす新しいお医者さん
— 東白川病院 —

三月三十一日、東白川病院では、四月一日付けの異動で郡上郡和良病院へ転勤されることになった大谷寧子先生を、職員全員でお見送りしました。

四月一日からは、大谷先生に替って岐阜病院に勤めておられた杉山照幸先生をお迎えし、現在内科医として診療に当た



大谷先生 さようなら



杉山照幸 26歳
(出身 岐阜市)

っていただいています。

「このたび、東白川病院に派遣になりました杉山です。現在まで、東白川村とは縁がございませんでしたので、先日訪れてみましたが、病院の前には溪流があり緑に囲まれたさわやかな土地であるかと存じます。私は、この三月まで岐阜県立岐阜病院にて臨床研究を行って来ました。地域の病院にての勤務は初めてですが、このような自然の中で勤務できることを嬉しく思います。

何分未熟者で、みなさまにご迷惑をお掛けするかと存じますが、先輩である浅野先生、時田先生のご指導を受け、みなさまの健康管理に少しでもお役に立ちたいと考えております。どうぞよろしく願います。」

しっかりと引き継いだ防災の誓い — 消防団 —

平成二年度の消防団入退団式が、三月二十五日東白川小学校校庭で行われ、退団者二十二名に記念品と感謝状が贈られ、入団者十五名へは辞令が交付されました。退団者、入団者および新年度の幹部構成は次のとおりです。

●●退団された人●●

- 【本部】副団長—今井武司
- 【第一分団】分団長—安江正徳
- ▼副分団長—河田正博・安江正孝
- ▼部長—安江政辰・安江雅人・新田兼博・安江満久
- ▼班長—安江正好
- 【第二分団】分団長—野村孝
- ▼副分団長—土井信行
- ▼部長—今井信好・古田茂樹・古田義隆
- ▼団員—安江幸喜
- 【第三分団】分団長—安江政春

●●入団された人●●

- 【第一分団】安江修治(平)・安江元樹(上親田)・村雲春巳(中通)・栗本尚樹(柏本)・古田宗隆(宮代)・今井英史(大沢)・今井幸泰(大沢)
- 【第三分団】安江正和(曲坂)・安江雅次(日向)・今井繁人(陰地)・安江正隆(黒淵)・三戸行美(大明神)・桂川誠(大明神)・安江茂夫(大明神)
- 【ラッパ隊】荻田和博(平)
- 【本部員】河田孝(西洞)

●●新年度幹部構成●●

- ▼団長—中島潮巳
- ▼副団長—安江廣文・安江美好
- ▼予防部長—古田公平
- ▼ポンプ部長—今井直美
- ▼分団長—安江裕尚
- ▼副分団長—安江清高
- ▼第一分団副分団長—今井秀夫
- ▼第二分団副分団長—安江正樹
- ▼第三分団副分団長—安江祐策
- ▼第三分団副分団長—安江正大
- ▼牧野秀男
- ▼ラッパ隊長—古田俊之
- ▼ラッパ隊副隊長—今井孝司

水道係ができました

— 役場機構改革と異動 —

今年度の目標に向って、円滑に事業が推進できるよう、今までの企画課商工広報係を振興係に改め、建設課に水道係を設置し、キメこまかな推進を展開します。

また、四月一日付けで発令された人事により異動した職員および、退職者と新採用職員は次のとおりです。()内は前所属課

- 【総務課】 税務係—今井英樹(土地改良課)・行政係—安江綾子(農務課)
- 【企画課】 振興係長—安江啓次(土地改良課)・企画財政係—安江良浩(総務課)
- 【建設課】 水道係長兼土木係長—新田充・林務係—安江誠(民生課)
- 【土地改良課】 管理係長—安江誠(企画課)・管理係—伊藤保夫(企画課)

退職

- 【東白川病院院長】 時田元
- ▽加藤治昭(建設課)
- ▽安江ゆかり(神土保育園)
- ▽山田隆司(社会福祉協議会)

●●新採用●●

新しい先生どんな人かな 小中学校教職員

今年も四月一日付けて教職員の人事異動がありました。異動のあったみなさんは次のとおりです。(敬称略)

転勤された先生

〔東白川小学校〕

▼講師 長島利恵子(東白川中学校へ)

〔東白川中学校〕

▼事務 村雲美知子(東白川小学校へ)

転出・退職された先生

〔東白川小学校〕

▼教諭 今井直樹(可児郡伏見小へ)・神戸玲子(育児退職)

・豊田美奈子(武儀郡洞戸中へ)
▼事務 小川秀文(不破郡不破中へ)

〔東白川中学校〕

▼教頭 各務稔(可児郡向陽中へ)

▼教諭 宮地敏美(瑞浪市釜戸小へ)・神戸誠(羽島郡川島中へ)・牧村一也(揖斐郡揖斐小へ)・増田衣佐子(大垣市西中へ) ▼養教 松岡美香子(退職)

転入された先生

●●東白川小学校●●



教諭▶浅野義彦(32歳-岐阜市)岐阜市立本荘中から



教諭▶村雲芳明(41歳-東白川村)可茂教育事務所から



教頭▶村田真夫(51歳-一川辺町)可児市立西可児中から

●●東白川中学校●●



教諭▶日比野由美(23歳-美濃加茂市)新採用



教諭▶大塚芳樹(22歳-大垣市)新採用



教諭▶榎間まち子(44歳-白川町)白川町立蘇原小から



養教▶松田千史(25歳-中津川市)春日村立春日小から



教諭▶星名昌子(25歳-瀬戸市)新採用



教諭▶梅村高志(25歳-美濃加茂市)可児市立蘇南中から

おまわりさんと社会教育主事 一交替です

村の社会教育に、また治安の維持にご活躍いただきました駐在県職員の異動が四月一日付で行われました。(敬称略) ころうさまでした

●●転出●●

○小保方研一 派遣社教主事(福岡町立福岡中学校教頭)

○永井祐吉 巡查部長(加茂警察署交通課)

趣味は、卓球、水泳。社会教育には関心がありました。意欲にみなぎっておられます。



井上光彦(36歳-美濃加茂市)美濃加茂市西中学校から

●●派遣社教主事●●

よろしく願います



事務▶高澤哲也(17歳-上宝村)新採用



中江和政(37歳-古川町)岐阜県警察本部から

●●駐在所警察官●●

奥さんと子供二人の四人家族。新進気鋭の部長さんです。



今井貴子(宮代)《社会福祉協議会》社会福祉協議会臨時職員から



安江つゆ子(大明神)《企画課振興係》高卒-18歳



村雲峰子(神付)《農務課普及係》高卒-18歳



大坪 靖(平)《建設課水道係》高卒-20歳



河田 孝(西洞)《民生課保健係》大卒-25歳



樋口章久(加舎尾)《建設課林務係》東白川村土地改良区職員から



今井義尚(平)《建設課水道係》東白川村土地改良区職員から



木彫り

開校10周年の卒業制作 手造りに誓いを込めて

「卒業記念に何を作ろう……」
開校一〇周年記念にふさわしい
もので、しかも自分たちがいつ
訪れても思い出として残ってい
るものにならう」

東白川小学校卒業生四十人が、
昨年の四月からアイデアを出し
合せて企画し作業を進めてきた
『手彫りの村民の誓い』が三月二
十四日卒業式に披露され児童玄
関に取り付けられました。



卒業式に『村民の誓い』を除幕

親子制作で手がけたこの作品
は、「東白川村民の誓い」五カ
字でも、一人でも
出来上がらないと完成
品にならないのが共同
作品。授業時間のほか
家へ持ち帰っては作業
を進める我が子の姿に
親もつい手が出てしま
う一幕もあったとか。
彫り上げた文字に墨
ニスを塗って仕上げる
までに八カ月もかかっ
たこの大作は、いつま
でも子供たちの思い出
に残ることでしょう。

槌の子

取り持つ縁で住宅建築 建築組合大忙し

槌とノコで。家内安全、商売
繁盛の神様として下親田に祀
られた「槌の子神社」の御利益



人気を呼んだもち投げ

がどんどん出ています。
五千三百万円。何んの数字
だと思えます。昨年「槌の子捕
獲大作戦」に訪れた人たちの
縁があつて上棟した、「東白川
の家」二棟分の売上げ額です。
昨年十一月、愛知県碧南市で
上棟した第一号に続いて、この
三月十八日には津島市で第二号
を上棟。早くも四月中には、三
号目为上棟する運びとなつてお
り、その後の商談も進んでいる
ようです。

木造建築組合においては、昨

匠の技

木造建築の技能が認められ 村雲さんに認定書

「匠の国・岐阜県伝統建築家」

東白川第一号に、中通的村雲兵
衛さんが認定され、この三月十
二日に梶原知事から認定書を授



村雲兵衛さん

与されました。
これは、伝統技能の継承と木
材需要の拡大を目的として平成
元年度から行っている事業で、
県内で六十人を認定。
村雲さんは、木造建築に長年
携わり、一級建築大工技能士と
して後継者の育成等に貢献され
た功績が認められたものです。
「授章を機にむらおこしに努め
たい」と張り切っておられます。

年の大作戦にひと役を買って出
た御利益に、槌の子様々といっ
たところでしょう。
四月、そろそろ槌の子の出番
です。「槌の子探そう会」では、
今年もユニークな催しを計画し
ほとんど村をPRする予定です。
おたのしみに……

■戸籍の窓 三月 敬称略
誕生おめでとうございます

(平) 島倉 宏之 (利佳子)
美喜子 (長女)
(黒淵) 安江 敏 (智安)
千登勢 (二男)

いつまでもおしあわせに

古田 貢一 (平)
谷川 夏代 (下呂町)
立木 淑仁 (各務原市)
安江 佳澄 (下野)
今井 英史 (大沢)
所 ちなつ (付知町)

おくやみ申しあげます

村雲 みつゑ 86歳 (神付)

■善意の寄付 敬称略

〔社会福祉協議会へ〕

現金九千五百八十七円 東白

育てササユリへの熱い思い

ササユリの切り花栽培でむらおこしができるかもしれない。かつて、「栽培は無理」とまでいわれ、幻の花として姿を消しつつあったあのササユリに、そんな思いをふくらませたのが、三月十八日に行われた東白川盆栽クラブ（田口庄之助会長）主催のササユリ栽培講習会でした。



プランターに移すため苗床から球根を取り出すみなさん

は、鱗茎の鱗片を一枚一枚はがして植えつける鱗片挿しによるものです。

この方法は、普通のユリ栽培などで使われてきましたが、ことササユリに関しては成功例がありませんでした。

三年前、岡崎市の中学校が、種による栽培を試み九年目にやっと開花させたのが日本で初めての成功例で、いかに難しい栽培であったかおわかりでしょう。

今回学んだ堀田先生の栽培のポイントは、鱗片を消毒することにあります。これによって、鱗片挿しによる方法が可能となり栽培を容易にしたわけですが、種による栽培に比べ開花までに要していた六〜七年の期間がわずか三年余りに短縮され、香り高い花に包まれる日も近くなりました。

盆栽クラブでは、今回を機に毎年六月ごろ講習会を開き、若い人たちを呼び入れながら、夢の実現に熱を入れることとしています。

植物

素材生かして

副産物

めん羊毛糸 草木染めで実益めざす



手紡ぎの用具はニュージーランド製

を生かした「手紡ぎの会」を作ろうという動きが、生産農家や趣味の会の主婦らによって育とうとしています。

めん羊は、毎年五月ごろに毛を刈り取ることから、その時期までに少しでも手紡ぎの練習をしよう、白川町で活動しているサークルの見学に出かけた

り、講師を招いては、慣れない手つきながらも楽しく取り組んでおられました。

「今は趣味でやっているから、自分で紡いだ毛糸でセーターでも編めたら最高です。でも、これが実益につながるようになってからこんな楽しいことはないでしょうね」

そんな夢を胸に秘めながらも今は、草木染めでどこにもないオリジナル作品を作ろうと勉強に励んでいます。



毛をほくす作業も根気がいります

今年1年
よろしく願い
します

各団体等役員紹介

平成二年度の各種団体長や役員などが決まり、この四月からみなさんの代表として、また世話役として、ご苦労を願うことになりました。

今後、村づくりの推進役として活躍いただく新年度の役員のかたがたを紹介いたします。

〈敬称略〉

◆事務嘱託員 〓組長

- 〔神土〕▼大口―今井和弘▼平
- ―新田利一▼下親田―安江里巳
- ▼上親田―村雲作二▼中通―安
- 江光利▼神付―村雲文雄▼中谷
- ―安江美好▼加舎尾―田口穰▼
- 西洞―安倍博之
- 〔越原〕▼曲坂―苅田鎮▼日向
- ―今井秋男▼陰地―苅田良平▼
- 栃山―安江春幸▼黒淵―早川彰
- 一▼大明神―安江巖
- 〔五加〕▼柏本―今井昭義▼宮
- 代―今井敏春▼大沢―小池辰夫



趣味を生かした オリジナル商戦

右の写真をご覧ください。
楽しそうに肩を揺らせて踊っ
ている若い踊り子の情景が浮ん
できませんか。



カラーでお見せできないのが
残念ですが、そこには廃物利用
作品とは思えない色彩の美しさ
と豊かな表情が伝わってきます。
カレンダーの絵柄の一部を背
景に使い、人形は赤貝の貝がら
に、着物などはぎれを色合い
良く着せてあります。

「赤貝を選んだのは、貝の大
きさが左合両極端に違っていた
ため、貝がらをいろいろな角
度から眺めてははぎれを当てて
みたところ、人工では作り出せ
ない貝がらのなめらかさが、自
然に近い肩の動きを表現してく
れました」。

この作品を含め、写真の品は
すべて平の神戸啓子さんのオリ
ジナルですが、中
でも左中央のひな
人形は、昨年ツチ
ノコの緑で二十組
もの注文を受けま
した。
これからの村お
こし、趣味を生か
したオリジナル作
品に消費者の志向
が傾きそうです。

おもしろいし 景観

生まれ変わった不動滝

＝水と緑のうるおいゾーン＝

「豊かな自然と
いっても、うっそ
うと草木が繁った
手つかずの自然だ
ったら、かえって
整備された都会の
公園の方が自然が
あふれている」
そんな話がある
講演で聞いたこと
があります。



滝つぼにコインを投げ入れて幸運を祈るとか…?

本村の場合も決して例外とは
いえません。たしかに、山は植
林され手入れしてありますから
うっそうという表現は適切では
ありませんが、訪れた人を立ち
止まらせたり、村の若いカップ
ルや家族連れの人たちが自然を
探勝できるような環境にあると
はいえないでしょう。
でも、少し手をかければ見違
えるような観光施設になる場所
を多く残しています。
その良い例が、五加柏本と神
土大口の境に当たる不動滝周辺
が、このほど「水と緑のうるお
いゾーン」に生まれ変わったこと
です。この造成事業は、自治宝
くじのコミュニティ助成
を受け東白川村青年団体
連絡協議会（村雲直樹会
長）が行ったものです。
これまで、スクールバ
スのウターン場として利
用されていた広場に、芝
を張り、木製の屋外テー
ブルを設置し、不動滝か
ら流れ出す溪流の上に藤
棚を設けました。

周辺には、ハナノキ、
ミツバツツジ、さざんか
などが植栽され、ドライ
ブの途中でちよっと一服
と、気軽に利用しゆとり
の運転に役立つことが期
待されましよう。

▼下野―熊崎進▼久須見―古田
好夫

◆ P T A

【小学校】▼会長―今井和好柏
本▼副会長―服田順次（平）
・今井久喜（大沢）

【中学校】▼会長―安江保（神
付）▼副会長―今井保都（大沢）
・安江義勝（上親田）

◆ 子供会

▼会長―桂川信道（陰地）▼副
会長（神土）―村雲昭二（加舎
尾）・（越原）―今井利隆（日
向）・（五加）―今井政信（大
沢）

◆ 高校生保護者会

▼会長―大坪兼行（上親田）▼
副会長―安江隆（上親田）・青
木一博（日向）

◆ 婦人会

▼会長―村雲美代子（陰地）▼
副会長―加藤寿子（枌山）・今
井豊子（大沢）▼書記―松岡美
代（陰地）▼会計―河村まなみ
（陰地）▼神土支部長―安江ア
サコ（中通）▼越原支部長―安
江春子（大明神）▼五加支部長
―今井桂子（大沢）

◆ 青年団

▼団長―田口輝久（中谷）

わたしの作品

本を読むおとうさん(版画)
東白川小学校六年生
今井雄平さん



ドライポイント 東中3年 今井恒夫さん(柏本)

好きな人 モデル=健二くん

合併処理浄化槽に補助金を交付

川や海を汚しているのは、産業排水より、家庭から流れ出る台所や風呂、洗濯などによる「生活雑排水」だといわれています。なぜなら、野放しの状態で流し捨てられているからです。

たとえば、使用済の天ぷら油五〇〇ccに水を注ぎたして魚が棲める水質にするためには、風呂おけ三三〇杯分の水が必要だと言われています。

牛乳二〇〇ccで一〇杯分。米のとき汁二割分でさえ風呂おけ四杯分の水で薄めないと魚が棲める水質にもとらないなど、ふだんなにけなく流している台所の水がこれだけの汚染源になるのです。

国は、こうした家庭雑排水を処理する施設として下水道のない地域に現在設置を奨励しているのが、「家庭用小型合併処理浄化槽」です。

おしらせ



これは、家庭雑排水をし尿と合せて処理するもので「使った水を家庭ごとにきれいにして自然へ帰す」という考え方に立っています。

設置希望者を募集します

村では、この合併処理浄化槽の普及促進を図るため、国の制度を受けて今年度から設置費の一部を助成することになりました。補助金の額は、施設の大きさによって異なりますが、これまでのし尿処理浄化槽(単独)の設置費相当分がこの「合併処理浄化槽」を取り付けることができます。

今年度の補助枠は五基分となつていますので、設置を希望する方は、役場民生課係保係で申込書を受け取り期限までに提出してください。

【提出期限】

平成二年四月二十日から平成二年五月二十一日まで
【提出先および問い合わせ先】
役場民生課係保係(有線二一

ふるさとのことば ⑭



☆ぶちやける

液体や粒状の物などを入れた容器をひっくり返して、中の物をこぼしてしまうことをいいます。

せっかく洗って箒にあげておいた米を、猫がひっかけてこぼしてしまつたときなど、「猫がぶちやけてしまつた」と言います。

バケツに水を汲むときは「ちいとお入れと」と注意します。「あまり多く入れるとこぼれるよ」という意味です。

「残つた鶏糞は田んぼへぶちやけておけよ」袋の中に残つた鶏糞を水田に撒くようにお父さんが指示したのです。

また「ぶちやける」は、「真相をありのままに話す」「隠さないですっかり打ち明ける」などの意にも使います。

「あの人は口が軽いで、ぶちやけてまうで気を付けたほうがええ」などと噂が広まることに気を配ることがあります。

「ぶちやけてまや気が楽になるに」と、悩みごとをすっきり吐き出すように勧めることもあります。

この「ぶちやける」という語はもともと「ぶちあける」という語が変化したものようです。「ぶち」は接頭語で、「打ち明ける」または「打ち開ける」と表記します。

☆ひっくりかやす

「ぶちやける」とよく似た意味を持つ言葉です。共通語の「引っ繰り返す」のなまつた語で、立っているものや正常の位置にあるものを横や仰向けに転倒させること、上下を逆にしたり、裏返ししたりすることをいいます。

「ぶちやける」と「ひっくりかやす」との違いは、「ぶちやける」の場合、容器の中に物が入っていることが前提ですが、「ひっくりかやす」は空のものでも構わないことでしょう。

好きな人 モデル—南野陽子
東中三年 伊藤孝一さん(平)

ドライポイント



ドライポイント

東中3年 熊沢規之さん(大明神)
好きな人 モデル—康博くん

ドライポイント

東中3年 新田幸代さん(加舎尾)
好きな人 モデル—大江千里

今月の図書



優駿 (上・下)

宮本 輝 著

人びとの期待をになって生れ、大自然に育まれる一頭のサラブレッド。その躍動する生命に魅せられた人間たちの愛の行方は——吉川英治文学賞受賞作。

私が殺した少女

原 奈 著

夏の初めの昼下り事務所にかかった一本の電話で始まる。私立探偵沢崎を窮地に追い込んでサスペンスを盛り上げる直木賞受賞作。1989年度ベストミステリー小説。



五六) ※ 希望者が多い場合は、抽選により決定します。決定は通知によって行い、その後補助金を受けるための正式な書類を提出していただきます。
● 自然の浄化作用だけで解決できなくなる前に、暮らしの中で解決していきましょう。
お詫び：
発行ナンバーの訂正をお願いします
三月号広報の発行ナンバー三四八号は、三四九号の誤りでした。お詫び申し上げます。
なお、恐れ入りますが訂正していただくようお願いいたします。

進めています—ふるさとづくり

◆工事入札結果(工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています) 敬称略—

【平】は場整備工事・安江耕・2.0 ha・19,261千円・山田土建㈱・9/25・県

【親田】畑総基幹農道舗装工事・農村公園～鈴田屋線出合・L=900 m・23,690千円・大脇建設㈱・6/30・県

【大明神】畑総基幹農道舗装工事・安江諱六(裏)～松岡鉦平・L=800 m・24,308千円・西野建設㈱・6/30・県

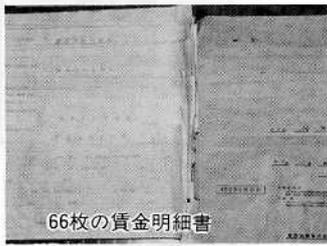


「とにかく嬉しかった。わずかな金額でしたが家へ送った覚えがあります。」
昭和四十年四月、中学を卒業して大垣市の鐘淵紡績工場へ勤めた陰地の松岡成子さんが、初任給八千五百二十円(手取り)を手にしたときの感動です。

給料明細書

岡さんを含めて二人がこの会社へ就職しました。入社早々、待っていたのが三か月間の新入社員研修。その時期は伊吹下ろしがひどく特に屋外での研修は身にこたえました。今から思えば、消防より厳しかったように感じます。しかしその養成期間中の貴重な体験が、「どんなことでも耐えられる」自分を育ててくれたように思います。

以来、退職するまでの「貸金支給明細書」五年間分六十六枚を、一枚も欠かさずことなく大切に保存してあります。
「この貸金明細書は私の記念。苦しかったことや楽しかった当時の思い出が、この明細書を見るとよみがえってきます」



66枚の貸金明細書

当時、卒業生は、約七割り近い生徒が就職した時代で、村から松岡さんへ送った給料明細書は、養成研修を終えて最初に当たった仕事は、羊毛をほぐして糸にするまでの過程。「厳しい仕事だったかもしれないが、養成研修のお陰で仕事がつらいと思っただけではありませんでした。」寮は十人部屋。全国から来ている仲間との共同生活が始まる中で、無心で仕事を続けて一か月。松岡さんが手にした初めての給料袋には、その月の残業手当や控除された食費などの内訳を記した支払明細書が印刷してあり、これを一か月の足跡として残そうと思ったのがキッカケ。仕事は二勤交替制のため、その間の時間を利用して工場内にあるNHK学園で高校通信教育過程四年間を修了し、自動車運転免許も自費で取得しました。今では、銀行振込みによる給料支払いが多く、何かもの足りなさを感じる時代になりました。

満1歳

わが家のスター



嵯峨 賢義くん



田回 奈佑くん



安江 真幸ちゃん



松岡 良祐くん

▲(明義さん・ちとせさん長男＝日向)

▶(幸裕さん・由美子さん二男＝黒瀧)



桂川 由也くん

▲(義孝さん・鈴子さん二男＝平)

(任弘さん・法美さん長女＝平)

かわいい盛り満1歳！わが家のスター☆ずくずく育っています。

▲安幸さん・美香子さん二男＝陰地

広報文芸

今月号から短歌に加えて俳句と狂俳を一か月おきに掲載します。趣味の輪を広げてどしどし参加してください。

俳句

- 掃木持つ作務僧やさし寒椿
 - 拡大鏡に文字たどる春や春寒し
 - 腰痛にしかみいる妻今朝の雪
 - 凍み浮きし草拾いゆく農始め
 - 行きつりに香水ほのと別れ霜
 - 雪どけに川は氾濫眼がくらむ
 - 夜に入りて春一番の荒びけり
 - 水温み四方のひかりに風やさし
 - 一雨の路傍に笑みしふきのとう
 - ランドセルの走ればおどる花吹雪
 - 昼風呂の肌によさしき春の風
- 田口 秋映(日向)
新田 義男(加舎尾)
安江 一灯(平)
田口 耕作(中谷)
河田 重喜(西洞)
安江 すみよ(平)
安江 誠(日向)
安江 武子(平)
安江 和郎(下野)
安江 益良(柏木)
早瀬 勇造(中通)

あなたの作品をお待ちしています。投稿は、奇数月の二〇日までに西洞河田重喜あてにお寄せください。

狂俳

- ちらつく雪 蛇の目の舞妓艶に行く
 - ちらつく雪 猪追うハンタ待場につく
 - ちらつく雪 宿の番傘借りて出る
 - ちらつく雪 嫁の熱燗気をさかす
 - にっこり 野戦で散った戦友もある
 - にっこり 母の手料理膳にある
 - にっこり 検査結果が○と出る
 - とろくさい 馬鹿にされても気にならぬ
 - とろくさい 振られた女の尻を追う
 - とろくさい 一句作るに骨折れる
 - とろくさい 勘定に合わん米作る
- 清流軒久永選
- 安江 一灯(平)
早瀬 勇造(中通)
田口 秋映(日向)
河田 あや子(西洞)
田口 耕作(中谷)
安江 須美代(平)
安江 楼(柏木)
安江 武子(平)
河田 重喜(西洞)
田口 薫(加舎尾)
新田 義男(加舎尾)

次回のお題は「はらはら」「うつくしい」。日本一短い作句狂俳にあなたも挑戦してみませんか。投稿は、奇数月の二十日までに陰地安江永吉宛にお寄せください。

立村百年記念植樹



立村百年を記念して、先ごろ村内に梅の苗が配られた。その数九百三十戸に三本づつ、合計二千七百九十本。東白川農協と東白川村が費用を半分づつ負担して無料配布した。そこで今月から季節の手入れとともに梅にまつわる「うめ話」を連載することにしよう。

▼梅のルーツをたどれば二千年、中国の四川省や河北省で薬として使われていたものが、奈良時代に日本へ伝わった。我が国でも広く食薬として珍重され江戸時代には現在のような梅干しや、梅肉エキスも作られるようになった。「医者を殺すに刃物はいらぬ、朝昼晩に梅を食べ」などと言われて、その効用のすばらしさは、二千年を経て今日なお注目を集め続けている。▼さて、各家庭三本づつの梅の苗、今はもう東白川の土に植えられて、芽吹きの時を待っているだろう。五月ころ、ようやく伸び始めた若葉に付いて栄養を吸い取ってしまう、やっかいな虫がいる。アブラムシである。何となく葉がちぢんで伸びてこない、色も悪くなったと思つて葉の裏をのぞくと、黒い小さなダニのようなものが密集している。これにはマラソン乳剤千倍液かスミチオン乳剤千倍液が有効だが、三本程度の苗なら手袋をして葉を痛めないよう注意しながら、指ですりつぶすのが一番、一週間置きに三回くらいくり返すのがポイント。

▼今年の始め役場の職員から立村百一年キヤッチフレーズを募つてみたら、その中の迷作として、堂々番外編一席を獲得したのが次の作品。「桃栗三年、柿八年、村はスイスイ二百年」